



発行日： 2025 年 12 月 28 日  
 発行者： カトリック横須賀三笠教会  
 TEL： 046-823-0042  
 FAX： 046-823-1031

e-mail:mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

たいこうせつもくそうかい

待降節黙想会(12月14日)「司祭の霊性」

しさい れいせい

みかさきょうかい しゅにんしさい まりの で は く と  
 三笠教会 主任司祭 マリノ・デハクト

ふくいん よ

## I. 福音を読むこと

せいじえろーにも

せいしよ し

聖ジェローニモによると、聖書を知らない

いえすさま し

ことは、イエス様を知らないということです。

ひと したが

ひと あい

ある人に従い、あるいは人を愛したいと

のぞ

ひと し

望むならば、まず人を知らなければなりません。

いえすさま し

あい きかい

イエス様を知り、愛したければ、機会があ

せいしよ よ

るたびに聖書を読まなければなりません。

きりすとしんじゃ

ふくいん よ

キリスト信者にとって福音を読むことは、

にちじょうせいかつ いちぶ

しんじゃ

日常生活の一部です。おそらく、信者はそ

まな

い

れを学ばなければならないと言ったほうが

たん しんじゃ

いいのですが、単に信者はそれを

よ

い

読まなければならないとだけ言うこともでき

おも ちてき くんれん

いの

ます。つまり主に知的な訓練ではなく、祈り

こうい

ふくいん よ

もくてき かみ

の行為です。福音を読む目的は、神を

あい

ないてき しょうどう え

かみ

愛するための内的な衝動を得ること、神を

ふか し

おさなご

より深く知ることです。幼子のように、

わたし

じゅうじゅん

こころ よ

おし

私たちは従順な心で読み、その教えを

う い

そな

せいしよ けんそん

受け入れる備えをすべきです。聖書が謙遜

こころ よ

たし

な心で読まれるならば、確かに、それは

よ けっか あた

良い結果を与えるでしょう。

せいしよ

わたし

いえすさま

また聖書をよむことで、私たちはイエス様

ひとり にんげん

し

を一人の人間として知ることになります。

いえすさま つみびと でし

ぎぜんしゃ

イエス様が罪人、弟子たち、偽善者たちと

まじ ようす

いえすさま

にんげんせい

交わる様子によって、イエス様の人間性の

とくちょう ふくいん まな

で き

特徴を福音から学ぶことができます。この

とくちょう

きりすとしんじゃ

せんきょう

ような特徴も、キリスト信者にとって、宣教

かつどう

おこな

うえ ひじょう

じゅうよう

わたし

活動を行う上に非常に重要です。私たちは

まわ

ひと

まじ

うえ

しゅ

周りの人たちと交わる上でその主のように

こうどう

いえすさま

しんせい

行動しなければなりません。イエス様の神聖

にんげんせい

わたし

しんこうせいかつ

な人間性は、私たちの信仰生活において、

ひじょう　じゅうよう　わたし　いえ　すさま　もほう  
非常に重要です。私たちがイエス様を模倣  
ふかのう　りかい  
することが不可能ではないと理解することが  
でき　せいしょ　よ　しんじん  
出来るのは、この聖書を読む信心において  
いえ　すさま　でし　ゆうじん　かんけい  
です。イエス様が弟子たちや友人たちの関係  
と　あつか　ほうほう　あい　じっせん　かんべき　もはん  
を取り扱う方法は、愛の実践の完璧な模範で  
いえ　すさま　もほう　まいにちふくいん  
す。イエス様を模倣するために、毎日福音を  
よ　しんじん　にちじょうせいかつ　い  
読む信心を日常生活に入れるべきです。

## II. 聖体への崇敬

せいいたい　すうけい  
いえ　すさま　つぎ　の　わたし  
イエス様は次のように述べています。「私  
き　かれ　いのち　う  
が来たのは彼らが命を受けるため、しかも  
ゆた　う　よはね  
豊かに受けるためである。」ヨハネ10:10。  
わたし　いのち　ばん　よはね  
そして「私は命のパンである」ヨハネ6:48  
だれ　やしな　い　つづ  
誰も、養われることなく生き続けることは出  
たし　せいいたい　わたし  
来ません。確かに、聖体なしで私たちの  
しんこうせいかつ　ささ　あら  
信仰生活を支えて、新たにすることは  
ふかのう　しさい　しんじゃ　しんこうせいかつ  
不可能です。司祭、信者たちの信仰生活に  
かん　えう　かりすちあ　く　かえ  
関することでは、エウカリスチアは繰り返し、  
しんこうせいかつ　しょうてん　かんが  
信仰生活の焦点として考えられています。  
わたし　えきむ　たっせい  
それらは、私たちがその役務を達成するため  
ひつよう　おんけい　みなもと  
に必要とするあらゆる恩恵の源と  
かんが　わたし　みさ　あずか　さい  
考えられています。私たちはミサに与る際、  
しゅ　げんそん　つねにいしき　ひつよう  
主の現存を常に意識する必要があります。  
わたし　たし　みさ　いだい　しんこうせいかつ  
私たちは確かにミサの偉大さと信仰生活  
う　こうか　りろんてき　りかい  
に受けるその効果を理論的には理解してい  
にちじょう　いそが　ふあん  
ます。しかし、日常の忙しさと不安のため、  
わす　おそ  
それを忘れてしまう恐れがあります。このよ

もんだい　さ　わたし　ひせき  
うな問題を避けるために、私たちは秘跡を  
う　とき　ただ　たいど　い　じ  
受ける時、いつも正しい態度を維持しなければ  
いえ　すさま　ひと　こ　にく  
なりません。イエス様は、「人の子の肉を  
た　ち　の  
食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの  
うち　いのち　よはね  
内に命はない。」ヨハネ6:53と  
い　しさい　まいにち  
言われました。だから司祭たちは毎日それを  
う　えう　かりすちあ　もつと  
受けているからこそ、エウカリスチアと最も  
みつせつ　かんけい　も　い  
密接な関係を持っていると言われています。  
きょうかい　しさい　みな  
でも教会は司祭だけではなく、皆さんも、  
かのう　せいいたい　う  
可能であればご聖体をたびたび受けること  
つよ　すす  
を強く勧めています。

## III. 祈り

いの　もつと　たんじゆん　い　み　かみ  
祈りの最も単純な意味は、神に  
かた　たが　りかい  
語りかけることです。それは、お互いの理解  
ふか　ふたり　ゆうじん　あいだ　かいわ  
を深めようとする二人の友人の間の会話  
いの　ひと　かみ　ゆうじん  
のようです。祈りなしには、人は神を友人と  
ちち　み  
して、あるいは、父として見ることは  
でき　きりすとしや　わたし  
出来ないでしょう。キリスト者である私たち  
いの　しんこうせいかつ　き　そ  
にとって、祈りは信仰生活の基礎です。  
いの　ね　しよくぶつ  
祈らないということは、根のない植物のよ  
あい　じっせん  
うなものです。愛が実践されるためには  
たし　おこな　ひつよう　にちじょう  
確かに行いを必要とします。しかし、日常  
ぎょうむ　いの　わす  
業務のため、祈りを忘れることは  
ゆる　わたし　いちにち　とお　かみさま  
許されません。私たちは一日を通して神様  
そんざい　つね　いしき　まいにちの  
の存在を常に意識するために、毎日祈り、  
ふ　かえ　じかん　み  
振り返る時間を見つけなければなりません。

りろんてき いの もっと ようい おこな  
理論的には、祈りは最も容易な行いです。  
かみさま いた ところ そんざい  
神様は至る所に存在しておられます。です  
わたし いちにちじゅう とし  
から、私たちは一日中いかなる時でも  
かみさま よ で き ねっしん  
神様に呼びかけることが出来ます。熱心に  
いの ふか しんがくてき ちしき も ひつよう  
祈るためには深い神学的な知識を持つ必要  
じゅうよう かみさま  
はありません。重要なことは神様のほうへ  
ところ せいしん かたむ かみさま とも す  
心と精神を傾け、神様と共に過ごすこと  
で き いの わたし  
が出来ることです。また、祈りは私たちの  
のぞ ねが  
望んでいることがかなうよう願うのではなく、  
わたし おも かみさま むね いっち  
私たちの思いが神様のみ旨と一致するよう  
ねが いえ すさま じぶん しめい  
に願うことです。イエス様が自分の使命を  
はじ とし ひじょう いそが  
始めた時、非常に忙しかったことを  
おも お まる こふくいんしょ  
思い起こしましょう。マルコ福音書では、  
しゅ い  
主はこのように言っています。「さあ、あなた  
ひとごととはな ところ い  
がただで人里離れた所へ行って、しばらく  
やす い で い ひと  
く休むがよいと言われた。出入りする人が  
おお しょくじ ひま  
多くて、食事をする暇もなかったからであ  
まる こ ふくいん いえ すじしん  
る。」マルコ6:31。福音によれば、イエス自身  
いの ひとごととはな ところ しりぞ  
も祈るために人里離れた所へ退いたこと  
わ いえ す  
が分かります。「しかし、イエスのうわさはま  
ひろ おおぜい ぐんしゅう おし  
すまず広まったので大勢の群衆が教えを  
き びょうき いや  
聞いたり、病気を癒していただいたりするた  
あつま いえ す ひとごととはな  
めに集ってきた。だがイエスは人里離れた  
ところ しりぞ いの る か  
所に退いて祈っておられた。」ルカ5:15-  
わたし いの じかん つく  
16。私たちは祈るための時間を作るべきで  
いただ しめい み むす いの  
す。頂いた使命が実を結ぶために祈りが  
ひつよう  
必要ですから。

ゆうじょう

#### IV. 友情

きりすとしや わたし ほか ひと  
キリスト者である私たちは他の人たちと  
おな おそ よろこ やす ふあん  
同じように恐れ、喜び、安らぎ、不安などを  
かん だれ こじんてき いけん のぞ  
感じます。誰であっても個人的な意見、望み、  
ひみつ はな あいて ひつよう  
秘密でさえも話せる相手が必要です。しかし、  
しんこうせいかつ だれ じぶん なや  
信仰生活になると誰かに自分の悩んでいる  
はな で き  
ことを話すことが出来ません。このことは、  
かみさま ちか で き しんこうしゃ  
神様だけが近づくことが出来る信仰者の  
い かた しんこうしゃ もっと  
生き方です。さもないと、信仰者の最も  
きほんてき とくせい かみ しんこう かんかく うしな  
基本的な特性や神との信仰の感覚を失う  
きけん しんこう なや  
危険があります。信仰について悩んでいる  
しんじや なぐさ ひと おな しんこう  
信者を慰める人がいるならば、同じ信仰を  
も ひと なか  
持っている人たちの中からでなければなり  
しさい ばあい しさいだん だいに  
ません。司祭の場合は司祭団からです。第二  
ば ち か んこうかいぎ か  
バチカン公会議は、こう書かれています。  
れいてき ちてきせいかつ ふか たが  
「霊的および知的生活を深めるよう互いに  
たす あ えきむ うえ きょうりよく  
助け合うため、また役務の上での協力が  
てきせつ こどく  
いっそう適切なものにするため、さらに孤独  
お きけん さ りゅう  
から起こりうる危険を避けるためなどの理由  
しさい あいだ しゅ きょうどう  
から、司祭たちの間に、ある種の共同  
せいかつ きょうゆうせいかつ しょうれい  
生活または共有生活が奨励される」。ま  
ゆうじょう きりす と きょうかい ちゅうじつ  
さに、友情はキリストと教会への忠実と  
しさい れいてきせいかつ ささ で き  
いう司祭の霊的生活を支えることが出来る  
い み ゆうじょう ただ りかい  
という意味です。友情が正しく理解される  
いえ すさま おし  
ということは、イエス様が教えてくださった  
あい じっせん いちど  
愛を実践することなのです。「一度

そむ きょうだい とりで  
背かれれば、兄弟は砦のようにいさかい  
をすれば、城のかんぬきのようにになる。」  
しんげん すく れきし かみさま  
箴言18:19。救いの歴史において、神様は  
じんるい すく にんげん どうぐ  
人類を救うためにいつも人間を道具として  
つか だれ たす ひつよう  
使っています。これは、誰もが助けを必要と  
していることを意味します。つまり私たちは  
ほか ひと たす ひつよう  
他の人たちから助けをもらうことが必要です。

## れいてきどくしよ V. 靈的読書

れいてきどくしよ もくてき かみさま  
靈的読書の目的は、神様についてより  
ふか りかい わたし だれ  
深く理解するためです。もし私たちは誰か  
よ し かれ あい  
のことを良く知っているなら、彼を愛するの  
むずか かみさま  
はそんなに難しくありません。また、神様につ  
おな かみさま よ し  
いても同じです。神様を良く知っていれば  
し しゅ あい でき  
知っているほど主を愛することが出来ます。  
にんげん ちせい あた そうぞう  
人間は知性を与えられているので、創造  
ぬし し つか  
主を知るためにそれを使わなければなりま  
たまもの じゅうよう にんげん  
せん。この賜物は重要であり、人間を  
のぞ ちせい あた い もの  
除いて知性を与えられた生き物はないから  
かみさま にんげん ところ つ あい  
です。神様が人間に心を尽くして愛するこ  
のぞ とうぜん い え すさま  
とを望んでいるのは当然です。イエス様がこ  
い ところ つ せいしん つ  
う言いました。「心を尽くし、精神を尽くし、  
おも つ かみ しゅ  
思いを尽くして、あなたの神である主を  
あい またい ちせい こんげん  
愛しなさい。」マタイ22:37。知性の根源は  
しんり い え すさまじしん い え すさま  
真理であり、イエス様自身です。イエス様につ  
しろう きりすとしゃ わたし  
いての思想はキリスト者である私たちにとっ  
た ま まな  
て絶え間なく学ばなければならないものです。

しさい なんねん しんがく べんきょう  
司祭たちは何年も神学を勉強しても、  
かんぜん かみさま わ  
完全に神様のことを分かったというわけで

はありません。  
れいてきどくしよ とき わたし たいど  
靈的読書をする時、私たちはどんな態度

み むす  
でやっているのかによって実を結びます。  
わたし よ ほん ないよう ところ なか  
私たちは読んでいる本の内容が心の中に  
はい ていねい よ だいじ  
入るように丁寧に読むことが大事です。  
わたし どくしよ とお れいてき かわ  
私たちは読書を通して靈的な渴きを  
み のぞ  
満たされますように望んでいるからです。ま  
どくしよ み むす けんそん たいど だいじ  
た読書が実を結ぶために謙遜な態度が大事  
どくしよ もくてき あたら しろう まな  
です。読書の目的は新しい思想を学ぶことだ  
しんこうせいかつ よ  
けではなく、信仰生活がより良くなるためな  
ころ と  
のです。このことは心に留めなければなり  
わたし いただ しめい まつと  
ません。私たちは頂いた使命を全うする  
い え すさま かんが こうどう  
ためにイエス様のように考え、行動するべ  
じどうてき  
きです。でもこれは自動的なものではないの  
れいてきどくしよ ひつよう めぐ あた  
で、靈的読書によって必要な恵みを与えら  
れます。

## せいぼまり あ しんじん VI. 聖母マリアへの信心

せいぼまり あ しんじん わたし しんこうせいかつ  
聖母マリアへの信心は、私たちの信仰生活  
たいせつ い え すさま  
においてとても大切です。イエス様は、  
ごたいない とき せいぼまり あ やさ ほご  
ご胎内にいた時、聖母マリアの優しい保護に  
たよ せいまりあ むすこ したが  
頼りました。聖マリアは、息子に従っている  
ひと よ わ  
人たちのことも良く分かっています。だから  
かのじよ すべ きりすとしゃ はは い  
彼女は全てのキリスト者の母だと言われて  
よ はね ふくいんしよ い え すさま  
います。ヨハネの福音書ではイエス様が

じゅうじか つ とき いき ひ と  
十字架に付けられた時、息を引き取られる  
まえ はは い ふじん ごらん  
前にみ母に言いました。「婦人よ、御覧なさい。  
こ で し  
あなたの子です。それから弟子に  
い み はは  
言われた。見なさい。あなたの母です。」  
よ は ね ことば せいぼ  
ヨハネ19:26-27。この言葉によって聖母  
まり あ わたし はは りかい  
マリアが私たちの母だと理解しています。  
わたし せいぼ こども かのじょ  
私たちは聖母の子供たちであるならば彼女  
もはん みなら とうぜん まり あさま  
の模範から見習うことが当然です。マリア様  
どうとく けんそん じゅうじゅん ていけつ たいど  
の道德、つまり謙遜、従順、貞潔な態度を  
もほう  
模倣しなければなりません。そうすると  
わたし こうき はは こども  
私たちがこの高貴なみ母にふさわしい子供  
まり あさま とお  
たちになります。またマリア様を通して  
わたし い え すさま よ し  
私たちはイエス様のことをより良く知ること

ははいじょう むすこ し  
になります。母以上に息子のことを知ってい  
もの まり あさま かげ  
る者はいないからです。マリア様のお陰と  
と つ しゅ したが  
取り次ぎによって主に従うことはたやすく  
なります。  
ろざりお つ いの いがい せいぼ  
ロザリオ、お告げの祈り以外にも聖母  
まり あ しんじん  
マリアへの信心がたくさんあります。もし  
わたし いの にちじょうせいかつ  
私たちがこれらの祈りを日常生活に  
い かのじょ わたし  
入れることができれば、彼女はいつも私たち  
と かな こん  
のために取りなしてくださいます。カナの婚  
えん お きせき せいぼ と つ  
宴で起こった奇跡のように聖母の取り次ぎ  
わたし じぶん よわ はじ  
によって私たちが自分の弱さによる恥から  
すく  
救われます。

.....

## あたう うた 新しい歌をうたおう！

・ みかさきょうかいさいせいぶろじえくと .....  
..... 三笠教会再生プロジェクトやろうよ！ .....

ふくいんせんきょうぶかい  
福音宣教会  
きょうかいいいんかい  
教会委員会

しんじゃあんけーと にほんじんこみゅにてい しょうしこうれいか きよくげん たつ  
信者アンケートをやったら、日本人コミュニティの少子高齢化が極限に達していることがわ  
こくさいか ざいせい しせつ かだい ふく ききてき みと え  
かりました。国際化や財政・施設の課題を含め、危機的であると認めざるを得ません。みんな  
う みかさきょうかいさいせい  
が生まれかわることをめざそうということになりました。みんなで「三笠教会再生  
ぶろじえくと ねん みかさきょうかいさいせい とし ねが  
プロジェクト」やりましょう。2026年が「三笠教会再生」の年になることを願っています。

たの みかさきょうかい  
わいわい楽しい三笠教会やろうよ！

じ す ぎ ひ と こ きょうかい  
12時過ぎになると人っ子ひとりいなくなる教会やめようよ。

たの い え す しょくじかい  
楽しくなければイエスの食事会じゃないよ。

たの みかさ げつ にちようび い べ ん と さ い く る は じ  
楽しい三笠教会の1か月の日曜日のイベント・サイクル始めようよ。

み さ か え こ み ゅ に て い か つ ど う  
ミサだけで帰るんじゃないくて、コミュニティ活動やってみようよ。

う  
みんなもういちど生まれかわろうよ！

わ か せ だ い か きょうかい  
若い世代がほとんど欠けている教会やめようよ。

いま  
あなたが今ここにいてほしいんだよ。

わかもの こうれいしゃ ぜんせだい こ み ゅ に て い さ い せ い  
若者から高齢者まで全世代のコミュニティを再生しようよ。

う せ だ い こ う た い  
みんな生まれかわってなんとか世代交代やってみようよ。

で きょうかい し み ん あ ゆ きょうかい  
出かける教会、市民とともに歩む教会になろうよ！

ね ん よ こ す か ま ち ぶ れ ぜ ん と きょうかい  
2026年の横須賀の街にまったくプレゼントしていない教会やめようよ。

が り ら や さ ん か い え す きょうかい  
ガリラヤに参加していなければイエスの教会じゃないよ。

し み ん か つ ど う た い け ん て き ま な  
市民活動から体験的に学ぶしくみつくろうよ。

し み ん か つ ど う さ ん か  
みんなで市民活動になんとか参加してみようよ。

め お た か お  
(名生尚雄)

---

## がつきょうかいいんかいほうこく 12月教会委員会報告

### きょうぎ けんとうじこう I. 協議・検討事項

#### みかさきょうかい かだい けんとう たいしよほうしん (1)三笠教会の課題の検討と対処方針

ぜんげつ いいんかい ていしゅつ ていあん もと けんとう い か みかさ に ゆー すけいさいきじ  
前月の委員会に提出された提案を基に検討する。以下、三笠ニュース掲載記事  
ばっすい  
より抜粋。

みかさきょうかい かだい けんとう たいしよほうしん いいんかい みかさきょうかいさいせい  
三笠教会の課題の検討と対処方針について委員会にて『「三笠教会再生  
ぷろじえくと だい い か ていあん ていじ  
プロジェクト」をめざして』と題しまして以下の提案が提示されました。

ていあん がいよう

### 【提案の概要】

しんじやあんけーと けっか にほんじんこみゆにてい しょうしこうれいか きょくげん たつ  
信者アンケートの結果、日本人コミュニティの少子高齢化が極限に達している  
あき いっぽう みかさきょうかいぜんたい こくさいか  
ことが明らかになりました。一方、三笠教会全体としては国際化がいつそ  
すす ざいせい しせつ かだい たし  
進んでいますし、財政・施設の課題があることも確かです。

ねん む う もと  
2026年へ向けてみんなが生まれかわることが求められています。いくつか  
かだい あき  
課題が明らかになっています。

### 1. わいわい楽しい三笠教会やろうよ！

じす ひと こ きょうかい  
12時過ぎになると人っ子ひとりいなくなる教会やめようよ。

### 2. みんなもういちど生まれかわろうよ！

わか せだい か きょうかい  
若い世代がほとんど欠けている教会やめようよ。

### 3. 出かける教会、市民とともに歩む教会になろうよ！

ねん よこすか まち ぐれぜん と きょうかい  
2025年の横須賀の街にプレゼントしていない教会やめようよ。

ねん む かだい と く ちーむ つく  
2026年に向けて、これらの課題に取り組めるチームを作って、  
さっそく ねん がつ すたーと き かんが  
早速2026年1月からスタートを切りたいと考えます。

### (2) 委員の交代について(2026年)

まつや まつしま たけうち なかやま  
松谷、松島、竹内、中山

のみねーといいん めいていど せんしゅつ  
⇒ノミネート委員3名程度を選出する

のみねーといいんこうほ いらい  
・ノミネート委員候補に依頼

のみねーといいんかいかいさい  
・ノミネート委員会開催、

のみねーといいんかい けっか きょうかいいんかい ほうこく がつじょうじゅん  
・ノミネート委員会の結果を教会委員会に報告(1月上旬)、  
がつじょうじゅん こうほしゃ かくやく めい しゅうにん いらい  
1月上旬から候補者(各役4名)に就任を依頼する。

### (3) 信徒報告会の開催時期について

しんとほうこくかい かいさいじ き  
2月22日(日)ミサ後に予定。

## II. 報告事項

### (1) マリノ神父様不在の予定と大水神父様によるミサのお知らせ

マリノ神父様が以下の期間に不在となります。よって、当該の期間におきましては、朝ミサはありません。

【不在の期間】

2月23日(月)～3月6日(金)

※3月1日(日)四旬節第2主日のミサは、大水恵一神父様(コベンツアル聖フランシスコ会)にお願いしてあります。

### (2) 堅信式

2026年12月6日(日)に司教様による堅信式が三笠教会で行われます。

堅信に向けての勉強会は9月頃より開始する予定です。

### (3) 1月11日(日)のミサについて

1月11日(日)のミサは、外国籍の方々と共に捧げるミサとなります。以前、三笠教会のミサに助祭として働いてくださったフン神父様とクン神父様が叙階後の初ミサを捧げて下さいます。

### (4) 寿町への支援(共同宣教司牧)

横浜第4地区「神の愛を伝える」部門の活動としての横浜寿町へのお米の支援と毛布の支援については、1月以降も引き続き協力をお願いする。

① お米 1合からでもかまわない、事務所前の空箱に入れて頂く。

② 毛布 事務所にて受け付ける。



てんれいれき ぎょうじ かつどう がつこく よてい  
Ⅲ. 典 礼 暦 と 行 事 ・ 活 動 (1 月 以 降 の 予 定)

にちようびいがい あさ みさ い か よてい ささ さいしゅうけつてい  
※日曜日以外の朝のミサは、以下の予定にて捧げられます(最終決定)。

げつようび かようび もくようび とうようび じ  
○月曜日、火曜日、木曜日、土曜日 8時から

だい しゅうめ かようび つき こと つき さいしゅうしゅう かようび  
※ただし、第2週目の火曜日と、月によって異なりますが月の最終週の火曜日  
だい しゅう だい しゅう あさ みさ  
(第4週または第5週)は、朝のミサはありません。

すいようび きんようび じ ふん  
○水曜日と金曜日 9時15分から

あさみさ な あさみさ かいし  
※1月1日(木)～1月3日(土)の朝ミサは無し。1月5日(月)より朝ミサ開始。

かみ ははせい まり あ みさ  
1月 1日(木)神の母聖マリアのミサ(11:00～)

しゅ こうげん  
4日(日)主の公現

しゅ せんれい きょうかい いんかい てんれい igaikai  
11日(日)主の洗礼 教会委員会、典礼部会

ねんかんだい しゅじつ きょうかい がっこう せいじん ひ いわ しんねんかい  
18日(日)年間第2主日 教会学校、成人の日のお祝いと新年会

ねんかんだい しゅじつ えいご みさ  
25日(日)年間第3主日 14:00英語ミサ

いの かい  
28日(水)祈りの会

ねんかんだい しゅじつ きょうかい いんかい てんれい igaikai  
2月 1日(日)年間第4主日 教会委員会、典礼部会

ねんかんだい しゅじつ  
8日(日)年間第5主日

ねんかんだい しゅじつ きょうかい がっこう  
15日(日)年間第6主日 教会学校

はい すいようび しじゅんせつ たいさい しょうさい あさ じ ふん  
18日(水)灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎) 朝9時15分より

しじゅんせつだい しゅじつ えいご みさ  
22日(日)四旬節第1主日 14:00英語ミサ

もくそうかい さんか  
黙想会に参加して

いちききょうこ  
市来京子

たいこうせつ もくそうかい てーま しさい れいせい わたし しんと む こうわ  
待降節の黙想会のテーマは「司祭の霊性」についてでした。私 たち信徒に向けての講話に  
なるのですが、まずキリスト者としての六つのミッションが示されました。  
い え す にんげんせい りかい ふくいん よ しゅじつ へいじつ み さ たびたびあず せいたい  
イエスの人間性を理解するために福音を読むこと。主日、平日のミサに度々 与かり、ご聖体  
はいりょう おお めぐ う かみ こころ む おも かみ おも いっち  
を拝 領して多くの恵みを受けること。神に 心 を向け、わたしたちの思いが神の思いと一致  
するよう祈ること。日々の信仰生活で出会う様々な体験を話せる友人と助け合うこと。  
れいてきどくしょ かみ ふか りかい せいぼ まり あ しんじん まり あ もはん しんこう  
霊的読書により、神をより深く理解すること。聖母マリアへの信心、マリアを模範として信仰  
せいかつ ゆた しんこうせいかつ しんと いの しさい ささ  
生活を豊かにすること。このような信仰生活をおくる信徒の祈りにより、司祭は支えられて  
いるということ。

しんぷさま えいご まじ ふ い り ぴ ん かたがた いっしょ き しんぷさま ことば  
神父様の英語を交えながら、フィリピンの方々と一緒に聴きました。神父様の言葉はわかり  
やすく、心 にストレートに入ってきました。7月から始まった「祈りの会」では信徒同士祈り、  
へいじつ み さ さんか ふ おも じぶん しんこうせいかつ ふ かえ しんとひとりひとり  
平日ミサへの参加も増やしたいと思います。自分の信仰生活を振り返り、信徒一人一人が  
まりのしんぷさま れいせい なら しょうきょうく あゆ もの い よ おも  
マリノ神父様の霊性に倣い、小 教 区としてともに歩む者になって行けば良いと思いまし  
た。

.....

もくそうかい さんか  
黙想会に参加して

お の はるこ  
小野 治子

ひ こうわしゃ まりのしんぷ しんぷ わ やす はなし お つ みみ かたむ  
この日の講話者はマリノ神父さま。神父さまの分かり易いお 話 に、落ち着いて耳を 傾 け  
むかし つねづねがいこくじんしんぷ がた にほんご せっきょう こうわ  
ることができました。昔 ？！から常々外国人神父さま方が日本語で説 教 や講話をし、  
ぶんしょう か そんけい ねん いだ じょうねつ ゆえ しんぷ がた  
文 章を書いておられることに尊敬の念を抱いてきました。その情 熱の故にか、神父さま方  
ことば すーっ こころ はい たびたび たむずか にほんごがくしゅう  
の言葉がスーッと 心 に入ってくることも度々ありました。難 しいとされる日本語学 習 や  
ことば かべ ころう かみ たす くだ  
言葉の壁に苦労されたこともおありだったでしょうが、きっと神さまがそのたびに助けて下

がいこくご しゅんじ ほんやく じだい まちが  
さったのですね。外国語が瞬時に翻訳される時代になりましたが、たとえ「てにをは」が間違っ  
たいめん ほう しんい つた き  
ていても対面の方が真意は伝わるような気がします。

きょう しさい れいせい はなし しんこうせいかつ ゆた じっせん  
さて、今日の「司祭の霊性」についてのお話。信仰生活を豊かにするために実践すべきこ  
ふくいん よ せいたい すうけい いの ゆうじょう れいてきどくしょ せいぼまり あ しんじん きょうかいほう  
とは、福音を読む、聖体への崇敬、祈り、友情、霊的読書、聖母マリアへの信心。教会法に  
しさい きむ いっぱんしんと こと ぶぶん はな こうもく  
ある司祭の義務と一般信徒のそれとは異なる部分もあると話されましたが、これらの項目は  
きりすとしや せいかつ あ じぶん しんと  
キリスト者の生活に当てはまるものばかりで、自分の信徒としての QOL(quality of life)  
しんこうせいかつ みなお よ きかい かんしゃ  
信仰生活を見直す良い機会になりました。感謝です。

.....

ねんど だい かいよこはまきょうく いちりゅうかいだいいん ち く いいんかい ぎじろく  
2025年度 第2回横浜教区一粒会第四地区委員会 議事録

かいさいにちじ

開催日時：2025年11月15日(土) 13:25~14:20

ば しよ ず しきょうかい

場 所：逗子教会

しゅつせきしゃ やすひさしんがさま ふかぼり のざわ いわま おいかわ くりはら やまもと いしわた おきた こにし まつおか  
出席者：保久神父様、深堀、野沢、岩間、及川、栗原、山本、石渡、沖田、小西、松岡

ぎ だい  
議 題

ほん ぶ いいん かいほうこく

① 本部委員会報告

しきょうさま か とりっくしんがくいん じょうにんいいん はず がくむたんとう ちてきょうせいたんとう

・司教様は、カトリック神学院の常任委員は外れたが、まだ学務担当、知的養成担当はし  
きょうし かくほ むずか ざいむかんけい ひ つづ おこな  
ている。教師の確保がとても難しい。財務関係も引き続き行っている。

しんがっこう せいとすう へ めい ながさきだいしきょうく にん よこはまきょうく めい  
・神学校の生徒数が減り、13名しかいない。長崎大司教区は0人。横浜教区は5名いる。

いちりゅうかい せいしやうねんいいんかい かつどう おも  
ひとえに一粒会と青少年委員会の活動のおかげと思っている。

か とりっくしんがくいん のうにゆうきん まんえん だ よこはまきょうく  
カトリック神学院への納入金は3,000万円ちょっと出しているが、横浜教区はもっと  
だ  
出さないといけなくなるかもしれない。

いちりゅうかいたいかいほうこく

② 一粒会大会報告

かいじょう ねん ごうら かんれいしらゆりがくえん でんしゃ こ おも はや で

・会場は12年ぶりに強羅の函嶺白百合学園だった。電車が混むと思って早く出たのだ

す む ー ず つ ぜんかい ある ふあん こんかい えき かいじょう  
が、スムーズに着いた。前は歩くことに不安がなかったが、今回は駅から会場までの

さか ひざ いた かん つぎ く む り おも がっこう なか けっこう  
坂が、膝が痛いために、つらく感じ、次に来るのは無理だと思った。学校の中も結構  
のぼ くだ ところ おお こうれいしゃ あしこし わる  
上ったり下ったりする 所が多かったのも、高齢者で足腰の悪い人にはつらいのではと  
かん たいいくかん ひろ おおぜい ひと こども ぶろぐらむ おおぜい  
感じた。体育館はとても広く、大勢の人でいっぱいだった。子供プログラムもあって大勢  
こ さんか おおぜい しんぷさま みさ いっしょ さんか まえ で  
のお子さんが参加していて、大勢の神父様とのごミサにも一緒に参加し、前に出て  
うた おとな こども さんか よ おも いちりゅうかい  
歌ったりして、大人も子供も参加して良かったと思える一粒会だった。

しきょうさま はな おも ないよう きょう なに い ところ  
・司教様のお話しがなかなか重い内容で、「今日から何ができるの?」と言われたのが心に  
のこ ちい いの つづ  
残っていて、それから小さいお祈りをちょっとずつ続けている。

こうない ある きび はなし よ  
・校内を歩くのがなかなか厳しかった。お話しはとても良かったし、わかりやすかったし、あま  
じかん なが よ おも いま ことば  
り時間も長くなかったのも、ちょうど良かったと思った。「今でしょ!」という言葉が  
いんしょうてき めい さんかしや ひさ ちが けん ひと あ こと  
印象的だった。800名くらい参加者がいたので、久しぶりに違う県の人と会う事ができ  
いす しり いた  
た。パイプ椅子だったのだが、なぜかお尻が痛くなかった。

おひる はん そと た よ ぐらうんど かいだん しつない た ところ  
・お昼ご飯を外でのんびり食べられたのが良かった。グラウンドや階段、室内でも食べる所  
ひさ ぐらうんど くるまざ た よ  
があった。久しぶりにグラウンドで車座になって食べたのが良かった。

だいろくち く かた かんたん ほうこく さんかしや ごうけい めい しきょうさま にん しさい めい  
・第六地区の方からの簡単な報告があった。参加者は合計788名。司教様2人、司祭38名、  
いっばんさんかしや めい こども にん ふく じっこういいん きょうりよくいいん めい じょうほうていきょう  
一般参加者が602名(子供50人を含む)、実行委員、協力委員が117名、情報提供  
しゅわ ようやくひつき めい がっこうせいと めい きょういん めい  
(手話、要約筆記)9名、学校生徒12名、教員8名。

けんきんがく えん けいひ しゅうけいちゅう  
献金額は574,812円。経費は集計中。

こども ぶろぐらむ えほん かみさま き いま じぶん で き ねが いの  
・子供プログラムで絵本「神様のゆめ」を聞き、今の自分たちに出来ることや願い、祈りを、  
かみさま てがみ か かんれいしらゆり がくせい えいやく てがみ さっし  
神様にあてて手紙を書き、それを函嶺白百合の学生さんがすぐ英訳して、その手紙を冊子  
ばちかん おく たんとう かた い ねつい かん  
にまとめ、それをバチカンに送りたいと担当の方が言っていて、すごく熱意を感じた。また  
あーめんはれるや きよく しゅわ れんしゅう みさ とき しゅわ うた  
「アーメンハレルヤ」の曲の手話も練習して、ミサの時、手話をしながら歌っていたのが  
いんしょうてき  
印象的だった。

じかいいちりゅうかいたいかい しゅく つづききょうかいせいどう かながわだいにちく  
次回一粒会大会・・・2026年11月3日(火・祝) 都筑教会聖堂(神奈川第二地区)

つづききょうかい はい にんずう めい しさい すたっふ めい めい  
・都筑教会だと入れる人数が400名くらい。司祭とスタッフで100名。300名を16  
しょうきょうく わ にん しょうきょうく にん  
小教区で割ると20人。小教区7つだと3人くらいになるだろう。

おおがたばす まいくろばす ちゅうしゃで き じょうようしゃ しずおか ながの ばす おおぜい  
・大型バス、マイクロバスは駐 車 出来ない。乗 用 車 のみ。いつも静岡、長野からバスで大勢  
き じかい で き  
来ているのだが、次回はそれが出来ない。

こうし すずきまことしんがさま えほん よ き こどもむ こうぎ かんが こども  
・講師は鈴木 真 神父様。絵本の読み聞かせなど子供向けの講義を考えているので、子供の  
さんか ね が こと じかい じはんうけつけ しゅうりょう じ よてい  
参加をお願いしますという事だった。次回は12時半受付で 終 了 が16時を予定している。

### ③ 10 月 19 日(日)「召 命 の 祈 り と ミ サ」報 告

まりのしんがさま じぶん はなし よ ふ い り び ん にほん き  
・マリノ神父様がお自分のお話をされたのが良かった。フィリピンから、日本には来たくなか  
く こと なんと かえ おも わる  
ったけど来る事になり、何度も帰ろうと思ったとか、いいことも悪いこともいろいろあった、  
はなし むずか はなし はなし  
というお話をされた。難しいお話ではなく、わかりやすいお話だった。

ひさ せつきょう あと しんじゃ みな はくしゅ せつきょう あと はくしゅ なんねん  
・久しぶりにお説教の後に信者の皆さんが拍手をした。お説教の後の拍手なんて何年ぶりか  
おも ひ こ き むかしみうらかいがんきょうかい とき しんが  
なと思った。みんな引き込まれるように聞いていた。昔 三浦海岸 教会であった時も神父  
さま じぶん しょうめい はなし たぶんこばやししんがさま とき よ おも  
様がお自分の 召 命の話しをされた。多分小林神父様。その時も良かったと思った。

ぎせつ の こ いま びょうし いま せいかつ  
・きっと挫折したりするのを乗り越えて今がある、とんとん拍子に今の生活にいったわけでは  
かん はくしゅ こばやししんがさま けっこう おも  
ない、そういうのを感じて拍手がでたのではないか。小林神父様は結構つらい思いをしなが  
の こ しんが はな おも まり の しんがさま とお  
らそれを乗り越えて神父になったという話しをされたと思う。マリノ神父様もこんな遠くの  
にほん き がんば いま しぜん はくしゅ  
日本に来て、頑張っているって、今があるということが、自然な拍手になったのかもし  
れない。

じかい たんとうきょうかい かなざわぶんこきょうかい らいねん あき き れんらく  
・次回の担当 教会・・・金沢文庫 教会。来年の秋ぐらい？ 決まったら連絡を。

ぜんかい いっぱんしんと かた さんか けつきよくいちりゅうかい いいん  
・前回一般信徒の方にもPRしようということになったが、参加は結 局 一 粒 会 の委員のみ  
ひ つづ じかい ほ  
になってしまった。引き続き次回もPRして行って欲しい。

かくしやうきやう く かつどうほうこく

### 各 小 教 区 の 活 動 報 告

ゆい が は ま えんだま えんだまけんきんばこ けいぞく せいどうい ぐちまえ お ちい  
由比ガ浜・・・1円玉、5円玉 献金箱が継続して聖堂入り口前に置かれている。小さい

こどもたち い ひ つづ お おも  
子供達が入れてくれているので、引き続き置いておこうと思っている。

らいねん いいんかいせん あたら ひと み むずか  
来年委員改選なので、新しい人を見つけない。でもなかなか 難 しい。

せんしゅう ほんぶいいんかい とくべつけんきん しょうきやう く  
先 週 の本部委員会で、特別献金をしているという 小 教 区 があつた。その  
ぼきんばこ も うし た ひつよう おも しょうきやう く  
ように募金箱を持って後ろに立つのも必要なのではと思った。小 教 区 の

きょうかいいいんかい　とき　ぼきん　じっし　よ　き　おも　せんきょう　ひ　しょうめい  
教 会 委員会 の 時 に 募 金 を 実 施 し て 良 い か 聞 こ う と 思 う 。 宣 教 の 日 や 召 命  
ひ　とくべつ　ひ　ひごろけんきん　ひと　けんきん  
の 日 など 特 別 の 日 。 そ う す る と 日 頃 献 金 し て い な い 人 で も 献 金 し て く れ る か

もしれない。

かなざわ　こうほうし　ねん　かい　かい　いちりゅうかい　き　じ　の　いいん  
金 沢 …… 広 報 誌 に 年 に 1 回 か 2 回 、 一 粒 会 の 記 事 を 載 せ て い る 。 委 員 を や っ て く だ さ  
かた　きょうかいがっこう　せいと　すく　つき  
る 方 も な か な か い な い 。 教 会 学 校 の 生 徒 も 少 な く な っ て い る が 、 そ れ で も 月  
かいかつどう　おも  
2 回 活 動 し て い る の は す ご い と 思 う 。

ゆきのした　め　だ　かつどう　いちりゅうかいたいかい　しゅっせき  
雪 ノ 下 …… あ ま り 目 立 っ た 活 動 は し て い な い 。 一 粒 会 大 会 に 出 席 。

みかさ　しょうめい　いの　み　さ　め　ー　る　みな　へんしん　た　す  
三 笠 …… 「 召 命 の 祈 り の ミ サ 」 の メ ー ル に 皆 さ ん 返 信 し て く だ さ っ て す ご く 助 か っ た 。

みな　あいさつ  
皆 さ ん が ど こ に い ら っ し ゃ る の か わ か ら な か っ た の で 、 ご 挨拶 で き な か っ た 。

おおつ　しゅにんしさい　いわましんがさまふざい　おお　しゅうかいさいぎ  
大 津 …… 主 任 司 祭 の 岩 間 神 父 様 不 在 が 多 く な り そ う だ と い う こ と で 、 集 会 祭 儀 の

べんきょうかい　はじ　いま　じっさい　かい　しゅうかいさいぎ  
勉 強 会 を 始 め た 。 今 ま で 実 際 に 2 回 ほ ど 集 会 祭 儀 が あ っ た が 、 そ の と き は

しんがくせい　かた　かた　まか　かた　いそが  
神 学 生 の 方 が い て く だ さ っ て 、 そ の 方 に お 任 せ し た 。 し か し そ の 方 が 忙 し く な

た　ぶ　ん　で　き　べんきょうかい　はじ  
っ た の で 多 分 出 来 な い だ ろ う と い う こ と で 、 勉 強 会 を 始 め た 。

つき　かい　み　どくしょかい　はじ　いま　かい  
ま た 月 1 回 「 見 よ こ れ は き わ め て よ か っ た 」 の 読 書 会 を 始 め た 。 今 ま で 3 回 あ っ た

むずか　めい　ひと　さんか  
が 、 な か な か 難 し い 。 10 名 く ら い の 人 が 参 加 し て い る 。

ず　し　かいほうし　いちりゅうかい　こと　か　いちりゅうかい　めいさんか　さ　び　え　る　さい　さくねん  
逗 子 …… 会 報 誌 に 一 粒 会 の 事 を 書 い た 。 一 粒 会 に は 6 名 参 加 。 サ ビ エ ル 祭 は 昨 年

まい　く　ろ　ぼ　す　だ　さんか　ことし　よてい  
マ イ ク ロ バ ス を 出 し て 参 加 し た が 、 今 年 も す る 予 定 。

た　ち　く　きょうかい　だい　にちようび　いちりゅうかいけんきん　ふくろ　く　ば  
他 地 区 の 教 会 で は 、 第 3 日 曜 日 に 一 粒 会 献 金 の 袋 を 配 っ て い る と い う と ころ

かつどう　おも　げ　っ　て　い　ほか  
が あ り 、 そ れ ぞ れ い ろ い ろ な 活 動 を し て い る の だ な と 思 っ た 。 月 定 で な く て も 、 他

かた　かんが　よ　おも  
の や り 方 を 考 え て も 良 い の か な 、 と 思 っ た 。

みうらかいがん　み　さ　けんきんはこ　えんだま　えんだま　じどうてき　いちりゅうかい　まわ  
三 浦 海 岸 …… ミ サ 献 金 箱 の 1 円 玉 、 5 円 玉 は 自 動 的 に 一 粒 会 に 回 さ れ る が 、 そ れ だ と

えん　えん　あつ　べつ　けんきんばこ　つく　ねん　かい　きょうかいだより  
1 円 、 5 円 し か 集 ま ら な い の で 、 別 に 献 金 箱 を 作 っ た 。 年 に 1 , 2 回 「 教 会 便 り 」

いちりゅうかい　き　じ　の  
に 一 粒 会 の 記 事 を 載 せ て い る 。

ほんがいいんかい　た　ち　く　かつどうほうこく　き　かつどう　さか　ところ　まいとしこうえんかい  
本 部 委 員 会 で の 他 地 区 の 活 動 報 告 を 聞 く と 、 活 動 の 盛 ん な 所 は 毎 年 講 演 会

しんがくせい　こうりゅう　いの　り　れ　ー　ち　く  
を し た り 、 神 学 生 と の 交 流 を し た り 、 祈 り の リ レ ー を し て い る 地 区 も あ る 。

じむきょく

#### ④ 事務局より

いちりゅうかい いん かいせん しんい いん きにゅうひょう ねん がつ にち ほんぶ ていしゅつ  
一粒 会委員の改選がある。新委員の記入票は2026年1月13日までに本部に提出。  
いちりゅうかい けんきん がつ はじ ごろ ほんぶ おく  
一粒 会の献金は12月の初め頃に本部に送ること。

た

#### ⑤ その他

しつもん わかてしさい あつ ねんれい わか しんぶさま じょかい とし ちか  
・質問だが、「若手司祭の集まり」とは年齢が若い神父様なのか、それとも叙階の年が近い  
しんぶさま いぜん じょかい ねんい ない ねんれい さいい ない いま しんしさい  
神父様なのか？⇒以前は叙階10年以内、または年齢40歳以内だったが、今は新司祭で  
さい こ じょかい ねんい ない  
も50歳を超えていたりするので、叙階10年以内としている。

やすひさしんぶさま

・保久神父様より

しんがっこう けいひ よこはまきょうく しんがくせい かず おお ふたん へ けんきん  
神学校の経費だが、横浜教区は神学生の数が多いので負担が増える。いまの献金では  
まかなえなくなっている。

いしゅつ がくせいひとり ねん まんえん ふつう だいがくせい くら たか おも  
支出は学生1人あたり1年250万円。普通の大学生に比べてそんなに高くはないと思う。  
もんだい しんがくせい きょうく ぶんたんきん はら ぶんよこはまきょうく ぶんたんきん  
問題は神学生のいない教区は分担金を払っていないので、その分横浜教区の分担金  
ふ けんきん ねが  
が増えてくるということ。これからも献金をよろしくお願いします。

いちりゅうかい たいかい けんきん しゅうにゅう おお ことし さんかにんずう やく にん けんきんがく  
一粒 会大会での献金は収入として大きい。今年の参加人数が約800人で献金額は  
まんえん らいねん いちりゅうかい たいかい さんかにんずう めい けんきんがく すく  
50万円。来年の一粒 会大会の参加人数は400名となっているので、献金額は少なく  
よそう めい こども しんぶさま のぞ めい  
なると予想される。400名でも子供、神父様と除くと300名くらいになってしまう。  
されじお がっこう つか い ふたん おお かんそ  
サレジオの学校を使っていると言われていたのだが。負担が多いので、簡素にしたいとい

うのはわかる。

たいけん

#### その他意見

よてい だいよんちく ねんご ねん たんとう  
予定では、第四地区は10年後(2034年くらい)に担当。  
じつげんかのう ばしよ てんと ちく ぐっず  
実現可能かどうかはわからないが、場所があれば、テントをたてて、地区ごとにグッズをだ  
う ちゃりていーばざー しゅうえき  
して売ってもいいかもしれない(チャリティーバザーのようなもの)。そしてその収益を  
けんきん  
献金してもらうのはどうだろうか。

ねんちく いんかい

#### ⑥ 2026年地区委員会

だいいちかい がつ  
第一回 5月  
だいにかい がつ  
第二回 11月

よこはまきょうく いちりゅうかい だいよんちく いんかい  
(横浜教区一粒 会第四地区委員会)

しゅ こうたん やはん み さ  
主の降誕(夜半のミサ) 12月24日

